

SureLab SL-D3000

メンテナンス作業について <Rev.D>

SureLab SL-D3000のプリント結果を良好に保ち、安定して稼働させるため、定期的に以下のメンテナンス作業を実施してください。

<内容>

■ご使用に関する注意事項について

■毎日

- 新品のロール紙を使うとき
- トップカバー/インク吸収材の清掃
- 印刷台の清掃
- エッジガイドの清掃

■1ヶ月毎

- 給紙部の清掃
- 後搬送経路の清掃

■6ヶ月毎

- 定期クリーニングの実施
- 給紙側搬送ローラーの清掃
- エッジガイド裏の清掃

■ノズル抜け発生時

- 通常クリーニングの実施

■その他

- プリントヘッドの清掃

ご使用に関する注意事項について

<設置環境>

プリント品質を維持するため、以下の点に気を付けて設置してください。

- ① エアコンなどの風が直接あたらないような環境に設置してください。
- ② プリントする際は、以下の設置環境でお使いください。
温度：10～30℃
湿度：30～60%
(調湿ユニット装着時：20～80%)

※この環境以外で使用した場合、良好なプリント結果が得られない場合があります。

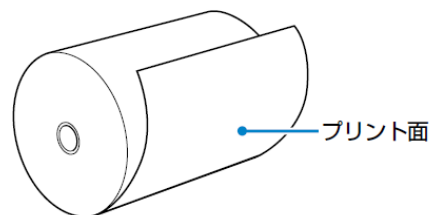
- ③ こまめにプリンターの周辺を清掃してください。



<ペーパーの取り扱いについて>

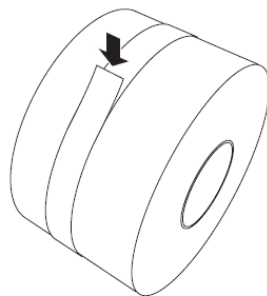
ペーパー取り扱い上のご注意

- ペーパーを折り曲げたり、プリント面を傷付けたりしないように注意してください。
- ペーパーのプリント面には触れないでください。
手に付いた水分や油が、プリント品質に影響します。
- ペーパーは、ペーパーの端を持って取り扱ってください。
または綿製の手袋を着用することをお勧めします。
- ペーパーを濡らさないでください。
- しわ、毛羽立ち、破れ、汚れなどのあるペーパーは使用しないでください。



ペーパー保管時のご注意

- 開封前または開封後のペーパーを保管する際は、以下の環境で直射日光を避けて保管してください。
- ペーパーの保管は、オプションのペーパーケースでの保管をお勧めします。ペーパーケースを使用しない場合は、ペーパーが梱包されていた個装袋に包んで個装箱に入れて保管してください。
- ペーパーの巻きが緩むのを防ぐため、付属のペーパーバンドを巻いて保管することをお勧めします。
- 開封後、使用していないペーパーは、巻芯ユニットから取り外して巻き直してから保管してください。長期間、プリンター本体にセットしたまま放置すると、ペーパー品質が低下するおそれがあります。



ペーパー種	保管環境	
	温度	湿度
プロフェッショナルフォトペーパー<光沢>	15 - 25℃	20 - 80%
プロフェッショナルフォトペーパー<ラスタ>	15 - 25℃	20 - 80%
プロフェッショナルフォトペーパー<厚手マット>	15 - 25℃	40 - 60%

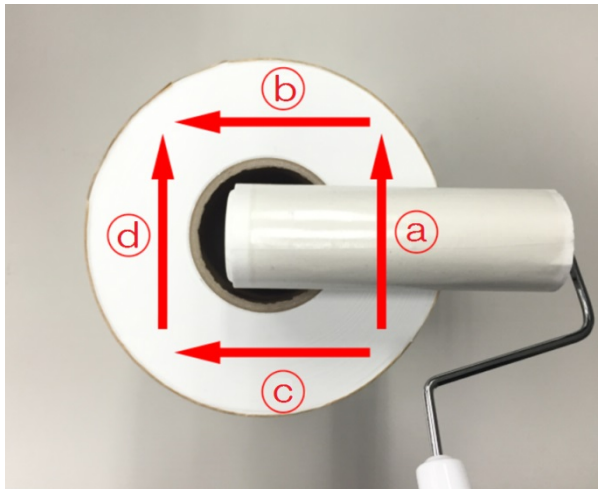
新品ロール紙

用紙端面の紙粉除去

新品のロール紙を初めてフランジ※にセットする際、用紙端面の紙粉を取り除いてからセットしてください。

紙粉を除去頂くことで、プリント中のノズル抜けを抑制します。

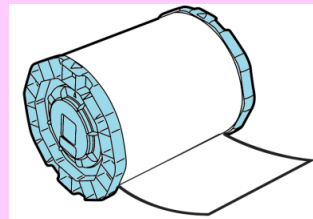
- ① 袋から取り出したロール紙を平らな場所に縦に置きます。
- ② ロールクリーナーで用紙の端面を図の「a → b → c → d」の順で清掃します。



- ③ 紙粉を取り除いた面にフランジをセットします。
- ④ フランジがセットされていない面を上向きにし、②と同じ要領で清掃します。
- ⑤ もう一方のフランジをセットします。
- ⑥ スプール（軸）をセットし、両側フランジをロックし、作業完了です。

ポイント

右図、水色部分がフランジです。



ポイント

ロールクリーナーは、市販品をご購入の上、ご使用ください。

また、ロールクリーナーをご購入頂く際は、

- ・粘着面が平面（凹凸タイプなどはおすすめしません。）
- ・粘着力弱～中

のものをお選びください。紙粉が取り除きやすくなります。

<参考製品>

- ニトムズ
ココロエコノミーS
型番：C2150



- アイリスオーヤマ
カーペットクリーナー ハンディレギュラー
型番：CNC-30R



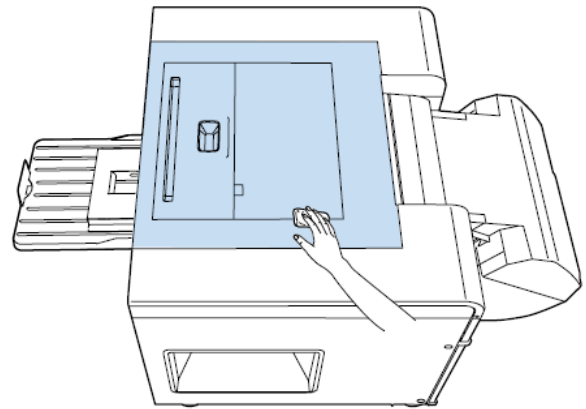
毎日

トップカバー/インク吸収材の清掃

ホコリや紙粉がノズル抜けを誘発する場合があります。
プリント品質を保つために、以下の点検・メンテナンスを実施してください。

■トップカバー

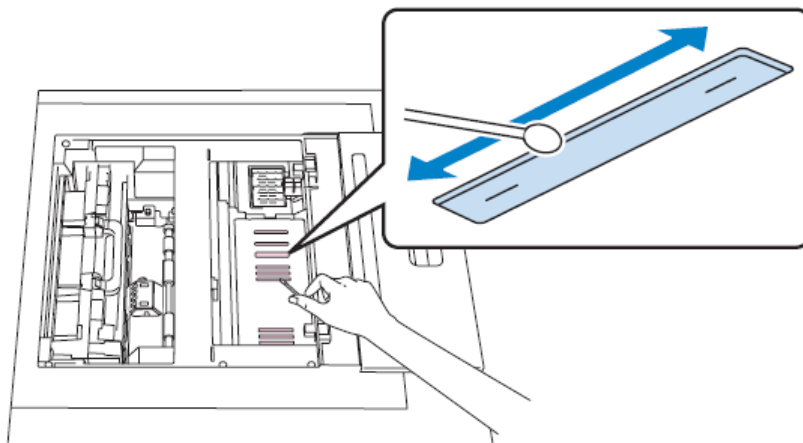
- ① トップカバー上に、ホコリや付着物がないか目視で確認します。
- ② 必要に応じて、柔らかい布で汚れを拭き取ります。



インク吸収材に溜まった紙粉が裏汚れの原因となります。
裏汚れ軽減のため、以下の点検・メンテナンスを実施してください。

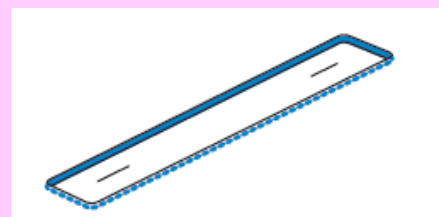
■インク吸収材

- ① 終業点検後に、トップカバーを開きます。
- ② インク吸収材に紙粉などが付着していないか目視で確認します。
- ③ 必要に応じて、綿棒を軽く動かし、インク吸収材のフチを掃除します。



重要

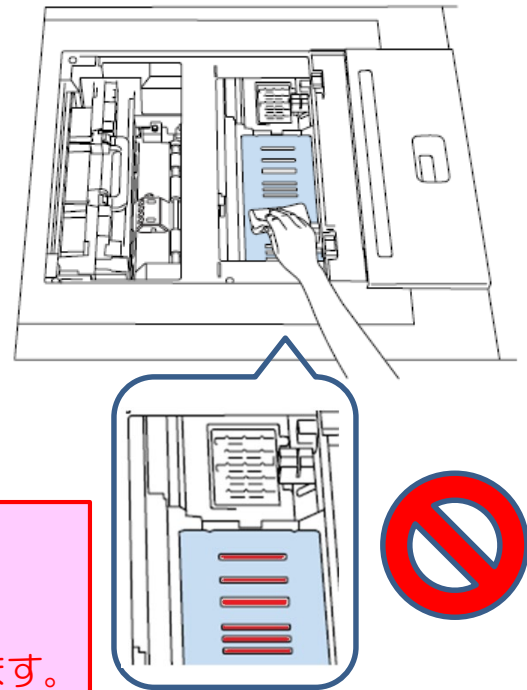
- インク吸収材のフチ（右図青枠部分）には、紙粉が残りやすくなっています。紙粉を取り除く際、フチに残らないように確実に取り除いてください。
- 吸収材に綿棒を強く擦りつけないでください。綿棒がほつれたり、吸収材が破損したりして、プリント品質に悪い影響を与える場合があります。



印刷台に溜まったホコリや紙粉が、ノズル抜けを誘発する場合があります。
また、印刷台の汚れが裏汚れの原因となる場合があります。
プリント品質を保つために、以下の点検・メンテナンスを実施してください。

■印刷台

- ① 終業点検後に、トップカバーを開きます。
- ② 印刷台上にホコリや紙粉、汚れがないか目視で確認します。
- ③ 必要に応じて、軽く湿らせた清掃用不織布などで汚れを拭き取ります。



重要

インク吸収材部分（右図赤色部分）は、
布で拭かないでください。
インクが布に付着し、印刷台を汚す可能性があります。

参考

- ・清掃用不織布（クリーンルームワイパー / SC2CRW）は、オプションとして販売しております。
- ・詳しくは、販売店様へお問い合わせください。



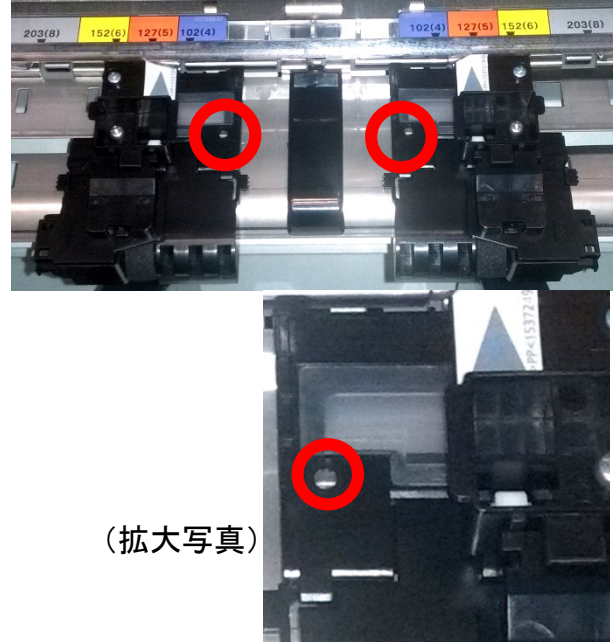
毎日

紙粉除去エッジガイドの清掃

※紙粉除去エッジガイド未対応のプリンターの場合、この清掃は不要です※
 終業点検後、プリント品質を保つために、以下の手順で清掃を実施してください。

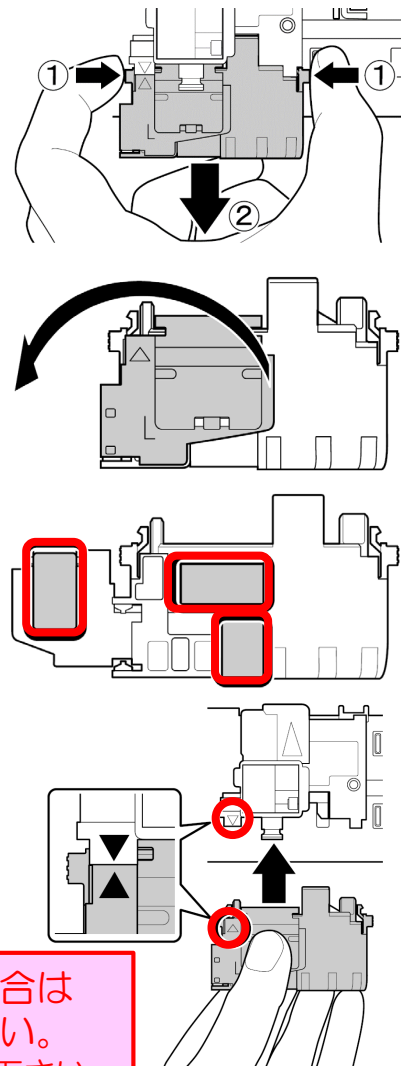
■エッジガイド部の清掃

- ① エッジガイド内部に溜まった紙粉を赤丸部の穴から掃除機で吸い取ります。
- ② 穴の上側の紙粉確認窓から紙粉が無いことを確認します。
- ③ エッジガイドの周辺を掃除機で清掃します。



■紙粉除去ユニットの清掃

- ④ 紙粉除去ユニットの左右のつまみを押え、そのまま下に引き抜きます。
- ⑤ 取り外した紙粉除去ユニットの上蓋を開きます。
- ⑥ 赤枠部のフェルト表面や周囲に付いた紙粉を掃除機で吸い取ります。
- ⑦ 蓋を閉め、▲マークの位置を合わせて挿し込みます。
- ⑧ もう一方の紙粉除去ユニットも同様に④～⑧の手順で清掃をしてください。



・紙粉が取れにくくなったり、フェルトが破れた場合は新しい紙粉除去ユニットを購入、交換してください。
 紙粉除去ユニット 型番：SLPDR 価格：代理店にお尋ね下さい

1カ月毎

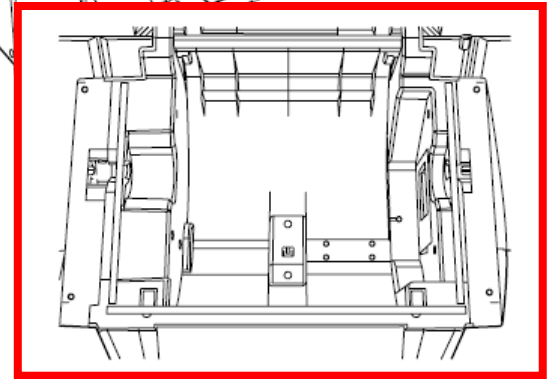
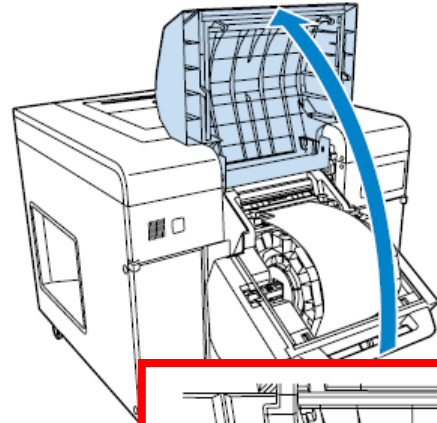
給紙部の清掃

プリンター内部に溜まったホコリが、ノズル抜けを誘発する場合があります。プリント品質を保つために、以下の点検・メンテナンスを実施してください。

■フロントロールユニット

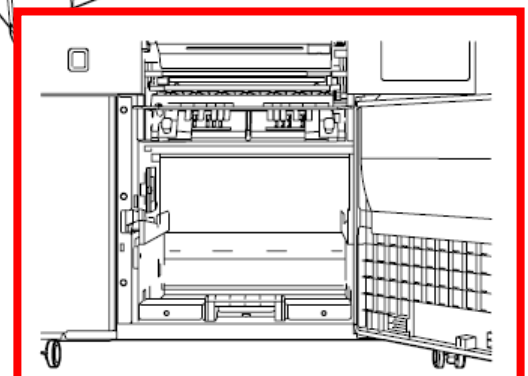
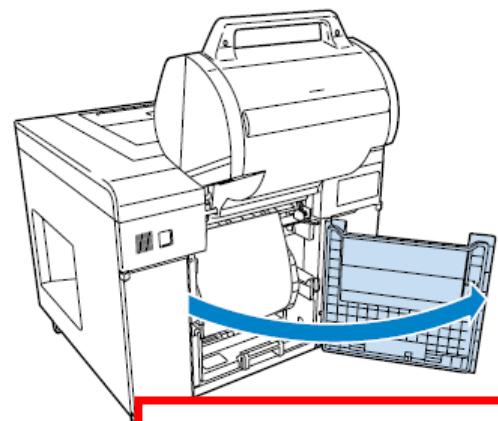
(※ダブルロールモデルの場合のみ)

- ① フロントロールペーパー供給部を開きます。
- ② 供給部にホコリなどが溜まっていないか目視で確認します。
- ③ 必要に応じて、軽く湿らせた布で汚れを拭き取ります。



■リアロールユニット

- ① リアロールペーパー供給部を開きます。
- ② 供給部にホコリなどが溜まっていないか目視で確認します。
- ③ 必要に応じて、軽く湿らせた布で汚れを拭き取ります。

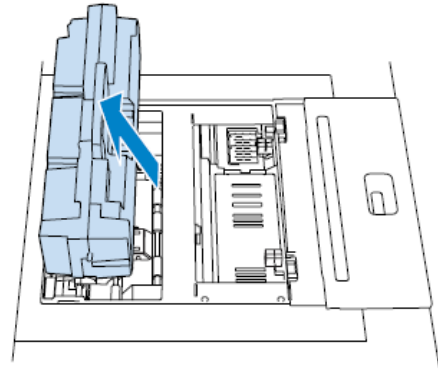


1カ月毎 後搬送経路の清掃

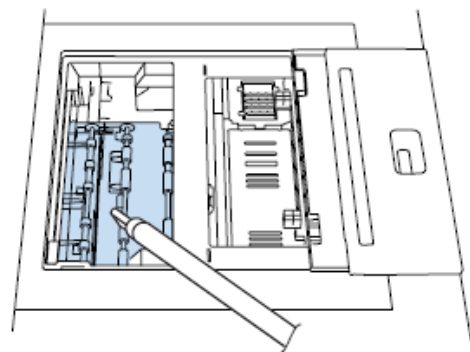
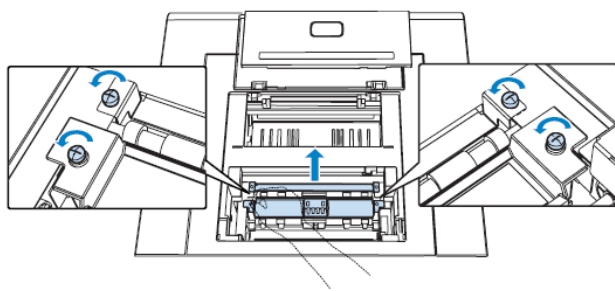
後搬送経路にホコリが溜まると、ノズル抜けを誘発する原因となります。
プリント品質を保つために、以下の点検・メンテナンスを実施してください。

■後搬送経路

- ① 終業点検後に、トップカバーを開きます。
- ② ヒーターユニットを持ち上げて取り外します。



- ③ 内部のカバーを取り外します。
- ④ 付着している紙粉を掃除機で吸い取ります。

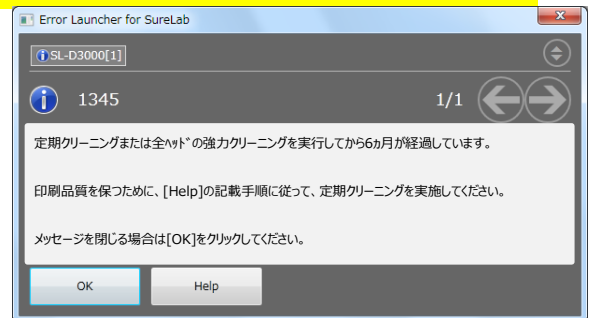


※ご注意※この黒い部分は「裏印字用リボン」が露出しています。吸い込まないようにご注意ください。

6カ月毎 定期クリーニングの実施

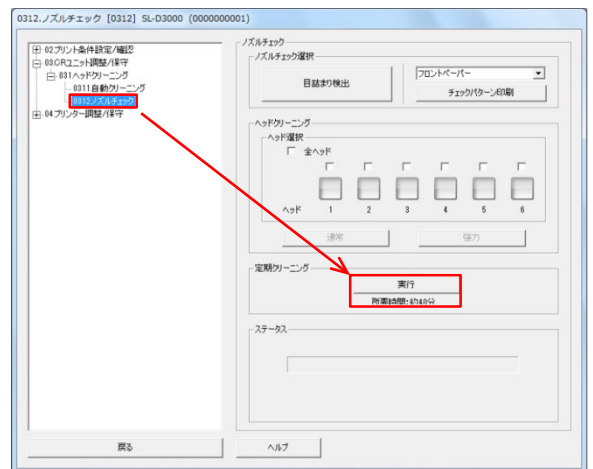
プリンターのプリント品質を保つために、定期クリーニングを実施してください。

- ① 定期クリーニングが必要なタイミングになると、画面にメッセージが表示されます。
(前回の定期クリーニング または 全ヘッド強力クリーニングから、6ヶ月が経過すると、右図のようなメッセージが表示されます。)



- ② MaintenanceUtility を起動し、定期クリーニングボタンを押してください。

- MaintenanceUtility を起動
 - [設定/保守]をクリック
 - [03.CRユニット調整/保守]> [031.ヘッドクリーニング]> [0312.ノズルチェック]をクリック
 - [定期クリーニング]> [実行]ボタンをクリックしてください。
- ※所要時間は、約40分です。



- ③ 定期クリーニング後、[通常]クリーニングを1回行ってください。
[通常]クリーニング後、[目詰まり検出] または [チェックパターン印刷]で、目詰まりがないことを確認してください。
目詰まりがある場合は、再度、[通常]クリーニングを行ってください。

重要

定期クリーニング直後は、一時的にノズル抜けがひどくなる場合があります。
定期クリーニング実施後は、[通常]クリーニングを合わせて実施してください。

ポイント

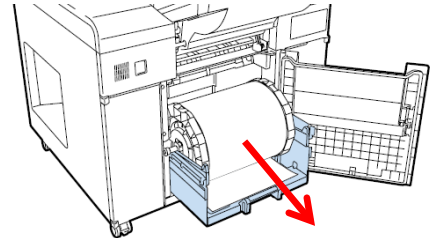
- 定期クリーニングは、通常クリーニングよりもインクを多く消費するため、インク残量やメンテナンスタンク残量が少ないときは、新しいものを用意してから実行してください。
- 定期クリーニングの代わりに、全ヘッドの強力クリーニングを実施して頂いても同様の効果が得られます。
全ヘッドの強力クリーニング後も必ず、通常クリーニングを行ってください。
- MaintenanceUtilityの起動方法
 - ① OrderControllerから起動する場合
⇒ [プリンター制御] > [設定保守] > [EPSON SL-D3000]
 - ② Windows上から起動する場合
⇒ [Windowsスタートボタン] > [すべてのプログラム]
> [EPSON SL-D3000 SystemApplication] > [MaintenanceUtility]

6ヵ月毎 給紙側搬送ローラーの清掃

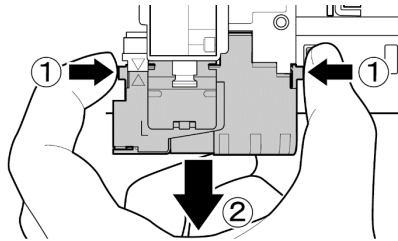
給紙経路に付着した紙粉やホコリが、プリント面へ落ちたり、ノズル抜けを誘発したりする場合があります。
プリント品質を保つために、以下のメンテナンスを実施してください。

※メンテナンス実施にあたり、クリーニングシート（SLCLS）が必要です。

① リアロールペーパーの巻き芯を取り外します。

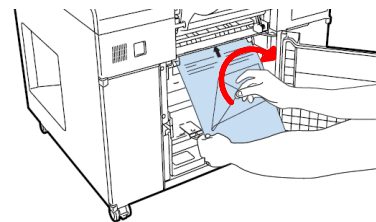


② エッジガイドの紙粉除去ユニットが付いている場合は左右とも外します。



③ クリーニングシートを給紙口に差し込みます。

④ 粘着テープ部を剥がします。



⑤ リアロールカバーを閉じます。

⑥ クリーニングシートが自動で給紙され、給紙経路が清掃されます。

⑦ ランプの点滅が終わりましたら、カバーを開けてシートを外します。

⑧ 紙粉除去ユニットを取り付け、ペーパーをセットしてカバーを閉じます。

参考

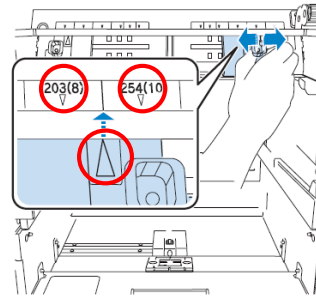
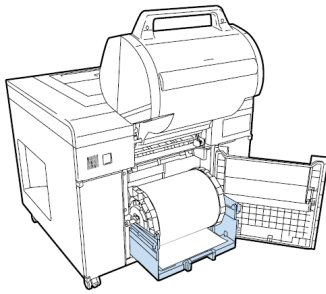
- ・クリーニングシート（SLCLS）は、オプションとして販売しております。
- ・1度使用したシートは、再使用できません。
- ・価格等は、販売店様へお問い合わせください。

6カ月毎

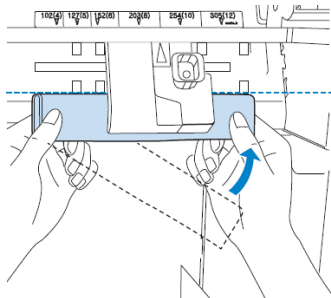
ペーパー幅ガイドの清掃

※紙粉除去エッジガイド対応済のプリンターの場合、この清掃は不要です※
 ペーパー幅ガイド裏面に紙粉が付着すると、ロール紙の固定力が低下し、
 斜めに給紙されてしまう場合があります。
 以下の手順に沿って、メンテナンスを実施してください。

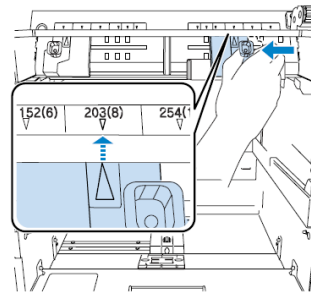
- ① リアロールペーパーを取り出します。 ② 右ガイドの[▲マーク]が、図の[▼]と[▼]の間となるように移動します。



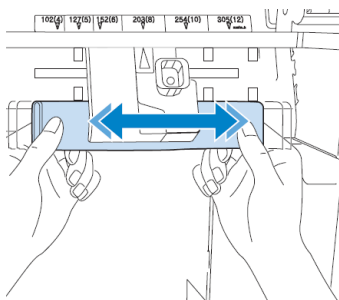
- ③ 水で濡らして固く絞った清掃用不織布を二つに折り、ペーパー幅ガイドと金属板の間に差し込みます。



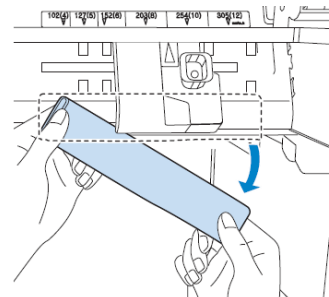
- ④ ペーパー幅ガイドを203 (8) の位置に移動します。



- ⑤ 両手で清掃用不織布の端を持ち、左右にスライドさせて紙粉をふき取ります。



- ⑥ ペーパー幅ガイドを②と同じ位置に移動させ、清掃用不織布を取り除きます。



- ⑦ 乾いた清掃用不織布を用意し、②～⑥の手順を繰り返します。

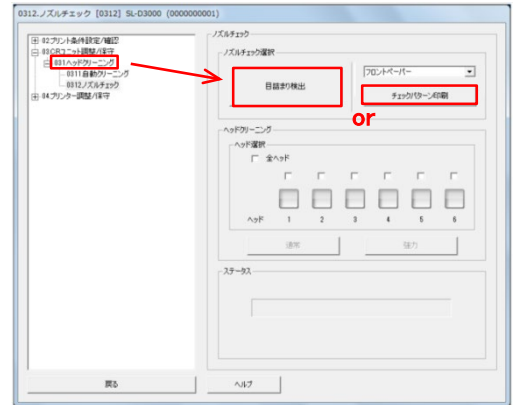
参考

- ・清掃用不織布（クリーンルームワイパー / SC2CRW）は、オプションとして販売しております。
- ・詳しくは、販売店様へお問い合わせください。



ノズル抜けが発生していると、プリントにスジが入ったり色味が変わったり、プリント品質が低下します。ノズルが抜け解消のために、ヘッドクリーニングを実施してください。

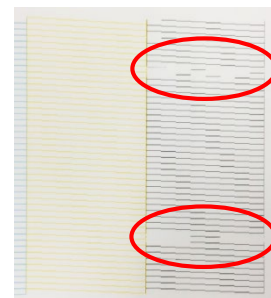
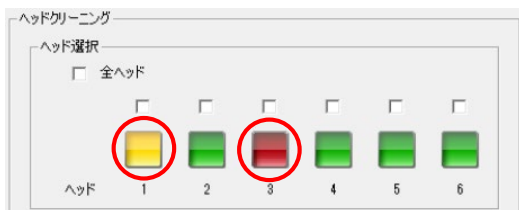
- ① メンテナンスユーティリティを起動します。
- ② [設定/保守]をクリックし、
[03.CRユニット調整/保守]>
[031.ヘッドクリーニング]を選択します。



- ③ [目詰まり検出]または[チェックパターン印刷]を選択し、ノズル抜けの有無を確認します。

※目詰まり検出で抜けが有りの場合

※チェックパターンで抜け有りの場合



- ④ ノズル抜けが有りの場合、以下の手順でクリーニングを行ってください。
 - ・ノズルが抜けているヘッド番号を選択し、ノズル抜けが改善するまで、[通常]クリーニングを繰り返し行います。
 - ・3回連続で[通常]クリーニングを行っても改善しない場合、[強力]クリーニングを1回、[通常]クリーニングを1回行います。
 - ・まだ改善しない場合は、[通常]クリーニング及びメンテナンスキット（P12に記載）をお試しください。
 - ・上記ステップで改善しない場合は、コールセンターへご連絡ください。

重要

[強力]クリーニング直後は、一時的にノズル抜けがひどくなる場合があります。
[強力]クリーニング実施後は、[通常]クリーニングを合わせて実施してください。

■MaintenanceUtilityの起動方法

- ①OrderControllerから起動する場合

⇒ [プリンター制御] > [設定保守] > [EPSON SL-D3000]

- ②Windows上から起動する場合

⇒ [Windowsスタートボタン] > [すべてのプログラム]

> [EPSON SL-D3000 System Application] > [Maintenance Utility]

その他 プリントヘッドの清掃

プリント品質を良好に保つために、プリントヘッドメンテナンスキットを使用して、プリントヘッドユニットとプリントヘッド用ワイパーの清掃を実施してください。

※通常クリーニングや強力クリーニングを行っても、ノズル抜けが改善しない場合にお使いください。

※定期的（6ヶ月を目安）に、プリントヘッドの清掃を実施して頂くことで、以下の予防効果が見込めます。

- プリント結果のスジ状の汚れを予防
- インク滴による汚れ付着を予防
- 余白部分や印刷台の汚れを予防
- ノズル抜けの発生を予防

※実施手順は、メンテナンスキット同梱の製品同梱説明書（P124）をご覧ください。

参考

- プリントヘッドメンテナンスキット（SLHDMTK）は、オプションとして販売しております。
- 1度使用したキットは、再使用できません。
- 価格等は、販売店様へお問い合わせください。

